

Day 23：どのように成長するのか

「あなたがたの心を一新させることによって、神に内側から造り変えていただきなさい。そうすれば、何が良いもので、神に喜ばれ、完全であるのかについて神のみこころを知ることができるようになるのです。」(ローマ 12：2b、TEV)

何年経ってもオムツもおしゃぶりも卒業できない赤ちゃんがいたとしたら、健やかな成長を願う親としてはとても悲しいことです。同じように、年を重ねたクリスチャンの多くがいまだに霊的幼児のまま成長しようとしていません。いくら天の父であられる神様が、あなたの内にキリストのご性質を育てようとしていても、それは自動的に起こらないものです。あなたの側からの願い、決意、努力、そして成長へのこだわりが必要なのです。主イエスに従った弟子の成長プロセスの第一歩は、ただ単純に主の招きに応じたことでした。あなたの場合も同じように、「決断」することから成長が始まります。それからの成長過程は、あなたのやる気(どれだけ真剣に取り組むか)にかかっています。多くの人はこのやる気が欠如しているため、なんとなく人生をやりすごしています。また、金持ちになることや、有名になるといった世俗的な目標に向かって努力する人もいますが、結局失望し、苦痛に悩まされます。大切なのは、「何に対して全力を注ぐか」ということです。全ての選択には永遠における結末がありますから、あなたのやる気の対象を賢く選択しなければなりません。

キリストに似たものになると決断したとしても、それは孤独な作業ではないことを覚えてください。キリストに似た者となるためには、聖霊様との共同作業が必要です。私達の側の責任は「全うする(Work out)」という側面です。それは、古い生き方を棄て、新しい習慣を身につけ、意図的に自分の考えを変えていくことです。そして聖霊様の責任は「うちに働く(Work in)」という側面で、新しい変化をもたらし、あなたを正しく導いてくださることです。あなたの新しい命(救い)を「体」だとすると、あなたのすべきことは体を頂くのではなく、頂いた体を鍛えるために「運動する(Work out)」ことです。

ここで注意したいのが、力づくで自分の生き方を変えようとする「がんばり」です。それはまるで、自動操縦装置を東に設定したモーターボートの舵を力づくで西へと方向転換を試みようとするようなことです。いずれあなたの腕は疲れて、ハンドルを握っていられなくなり、ボートはもともとプログラムされていた東へと進みはじめます。神様はあなたの生き方を変えるために、もっと簡単な方法を用意しておられます。それは、あなたの自動操縦装置、つまり「あなたの思考」を取り替える方法です。あなたの考え方があなたの感じ方に影響を与え、どう感じるかによってあなたの行動が決まってくるのです。聖書は何千年も前から「自分の考え方には十分注意せよ。あなたがどう考えるかによって、あなたの人生は決まってくるからだ」と、忠告しています。

神様について、人々について、人生について、罪について、将来について、その全てのことについて、自分の考えと神様の考えを「入れ替える」ことを、「悔い改め」といいます。キリストの思いを自分の思いにすることは、第一に自己中心的な未熟な考え方を捨てることです。そして第二に、成熟した物の考え方を始めるということです。それは、聖書知識を蓄えることではなく、行動と人格を含むものです。キリスト教は、宗教でも哲学でもなく、一つの関係であり生きかたなのです。霊的成熟度は、どれだけ「主イエスと同じように自分のことよりも人のことを優先して考えられるか」ということで証明されます。これは容易にできることではなく、世の流れに真っ向から反対することです。しかし、私たちには「神様の御霊」という助けがあります。この神様の御霊が私達を成長させられる際に用いられる道具については、これから数章にわたってみていきましょう。

今日のポイント：成長を始めるのに遅すぎるといことはありません。

考えてみましょう：自分の考え方を捨てて、神様のみこころに合わせる必要がある日常生活の分野を一つ挙げてみましょう。